

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最大4細胞/mL、麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大1細胞/mL確認されました。

また、柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、コクロディニウム・ポリクリコイデスが栄喜奥でも0.23細胞/mL、青瀬山でも0.28細胞/mL、アレキサンドリウム属が大島中央でも0.02細胞/mL確認されました。

アレキサンドリウム属は、主に二枚貝（食用を含む）を毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属
A 藻津 (14m/37.5m) 【09:40】	0	21.0	34.0	7.3	0	0
	2	21.0	34.3	7.3	0	0
	5	21.1	34.6	7.0	0.12	0
	★ 10	20.8	34.5	7.0	0.16	0
	15	20.3	34.5	7.0	-	-
	20	18.8	34.5	7.4	-	-
B 宇須々木 (17.4m/26.8m) 【09:33】	0	20.8	33.8	7.3	0	0
	5	21.0	34.6	7.0	0	0
	★ 10	20.9	34.6	7.1	4	0
	15	20.3	34.5	7.0	-	-
	20	18.9	34.5	7.1	-	-
C 大島中央 (20m/32.1m) 【09:53】	0	21.1	33.4	7.3	0	0
	★ 5	21.1	34.6	7.2	0	0
	10	20.9	34.6	7.1	0	0
	15	20.6	34.6	7.1	-	-
	20	19.1	34.6	7.3	-	-
D 小筑紫中央 (19m/49.1m) 【10:04】	0	20.8	33.0	7.3	0	0
	5	21.1	34.6	7.1	0	0
	★ 10	20.7	34.6	7.1	4	0
	15	20.2	34.5	7.0	-	-
	20	19.2	34.6	7.5	-	-
E 真珠 (15.4m/31.8m) 【09:21】	0	20.9	34.0	7.3	0	0
	5	21.1	34.4	7.2	0	0
	★ 10	20.3	34.5	7.1	0	0
	15	19.5	34.5	7.2	-	-
	20	18.9	34.5	7.3	-	-
F シラハエ (16.2m/37.5m) 【10:16】	0	21.2	32.3	7.3	0	0
	5	21.0	34.6	7.2	4	0
	★ 10	20.6	34.5	7.2	0	0
	15	19.8	34.5	7.2	-	-
	20	19.4	34.5	7.3	-	-

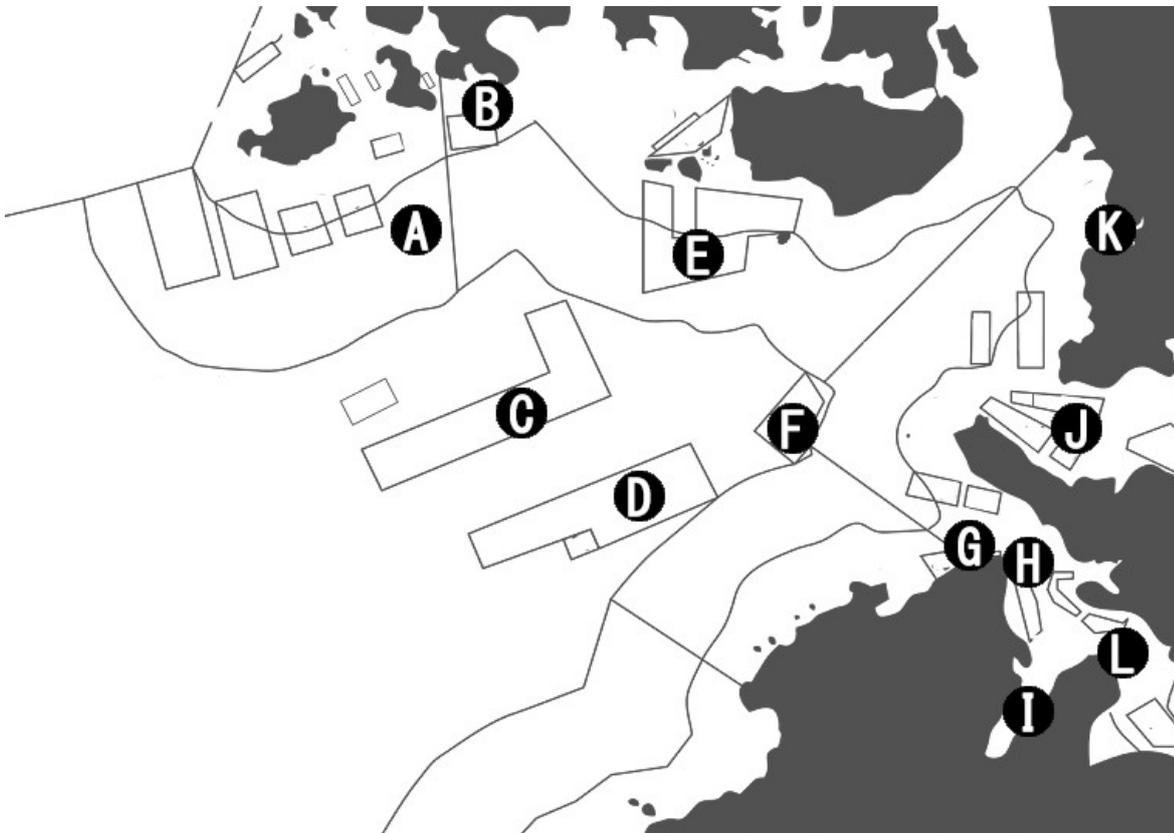
調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属
G 立石 (12.4m/23.1m) 【10:26】	0	20.6	32.3	7.3	0	0
	5	21.0	34.5	6.7	2	0
	10	20.8	34.5	6.9	0	0
	★ 15	19.9	34.5	7.1	0	0
	20	19.6	34.5	7.3	-	-
H 一切田 (12.8m/21.5m) 【10:55】	0	20.2	32.7	7.5	0	0
	5	21.1	34.5	7.1	0	0
	★ 10	20.2	34.5	7.0	0	0
	15	19.7	34.4	7.2	-	-
	20	19.3	34.5	7.2	-	-
I 栄喜奥 (10.4m/13.3m) 【10:37】	0	20.2	31.8	7.5	0	1
	5	21.1	34.5	7.1	0	0
	★ 10	19.8	34.5	7.1	0	0
J ヒロウラ (10m/24.8m) 【11:07】	0	20.9	33.0	7.3	0.08	0.04
	2	21.1	34.4	7.0	0.08	0.04
	5	21.1	34.5	7.1	4	0.01
	10	20.5	34.5	7.0	0	0
	★ 15	20.1	34.5	7.0	0	0
	20	19.3	34.5	7.2	-	-
K 田ノ浦 (-/6m) 【09:11】	0	20.4	33.2	6.9	0	0
	★ 5	20.9	34.5	6.6	4	0
L 青瀬山 (8.8m/15.4m) 【10:45】	0	20.6	32.5	7.2	0	0
	5	21.0	34.5	7.3	0	0
	★ 10	20.1	34.4	7.2	0	0
	15	19.5	34.5	7.2	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

貝毒原因プランクトンのモニタリングのため、藻津及びヒロウラの0m、2m、5mの深度から採水した海水の濃縮検鏡を実施しています。

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL: <https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。



- A: 藻津 E: 真珠 I: 栄喜奥
 B: 宇須々木 F: シラハエ J: ヒロウラ
 C: 大島中央 G: 立石 K: 田ノ浦
 D: 小筑紫中央 H: 一切田 L: 青瀬山

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。